

平成30年度(第7回)定時総会資料

第1号議案

議事録署名人名選出の件

日時 平成29年5月27日(土)10時~14時40分

場所 千葉市美浜区若葉2-10-1

第2号議案

平成29年度事業報告および収支決算報告並びに監査

千葉県立保健医療大学 図書館棟大講義室

報告承認の件

内容 総会式典 10:00~10:40

特別講演 10:40~12:20

「少子高齢社会における栄養士・管理栄養士の役割」

講師 神奈川県立保健福祉大学

学長 中村 丁次

総会議事 13:25~14:40

出席者数 1018名(内委任状881名)

平成29年度事業報告

1. 平成29年度定時総会の開催

平成29年度定時総会は、千葉県健康福祉部健康づくり支援課課長 高岡志帆氏、千葉県議会議員・本会顧問 佐野彰氏をはじめとする9名の来賓をお迎えして式典を行い、引き続き特別講演(栄養士・管理栄養士研修会)、総会議事を次のとおり開催した。

平成29年度事業報告

事業番号	事業の内容
公1	県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発、「食の宝庫千葉」の食材に培われた伝統的な食文化の継承と発展、県民の健全な食生活を彩る料理・献立の考案と普及、公衆衛生施策の立案への参画などをとおして、食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業
定款上の根拠	第4条第1項第1号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
1号	本事業は、保健・医療・福祉および教育等の領域において、栄養指導と食事療法を掌る栄養士・管理栄養士の実務をとおして得られる科学上の知見に立脚して、調査、研究および技術開発を行い、医学・農学・家政学などに跨る食と栄養の学術および科学技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図るものである。
6号	本事業は、「事業の内容」欄に記載した一連の取り組みなどをとおして、保健・医療・福祉などの領域における食と栄養の科学および実用技術の振興(公益法人認定法別表1号)を図り、もって公衆衛生の向上(公益法人認定法別表6号)に寄与することを目的とする。
事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】	
<p>本事業は、県民の食と栄養および健康・栄養指導・食事療法に関する調査などに取り組むものである。大きくは、4つの柱からなり、(1)1つ目の柱は、調査および資料の収集である。調査および資料の収集の主要な対象は、第1に県民の健康と栄養の実態、第2に、栄養指導・食事療法の事例や症例などである。(2)2つ目の柱では、調査および資料の収集を踏まえ、栄養指導と食事療法に関する研究および技術開発を行う。(3)3つ目の柱では、食と栄養の科学の見地から、千葉県の新鮮な食材を生かした伝統的な料理・食文化の継承発展、県民の健康的な食生活を彩る献立・レシピの考案などを行う。(4)4つ目の柱は、千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進である。いずれの柱も、本会ならでの研究および技術開発活動である。これらの事業により、県民の健康を衛る食と栄養の科学および実用技術の振興を図る。</p> <p>以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公1の事業を構成するものである。</p> <p>以下に平成29年度事業の実施概要を記載する。</p>	
<p>I. 食と栄養の科学および実用技術の振興を図る事業(定款第4条第1項第1号)</p> <p>1. 栄養・健康に関する調査研究事業</p> <p>1-1 栄養指導研究所の運営(学術部)</p> <p>栄養士・管理栄養士の栄養指導・食事療法の技術の開発・研究への支援や普及などに関する事業を充実させ、それをもとに食と栄養を通じた県民の健康づくりの進展に寄与することを目指すため、各職域事業部における研究業務の推進及び栄養士・管理栄養士の研究業務の推進と研究論文の作成の指導、千葉県栄養改善学会の企画などの充実にも努めた。また、栄養千葉に「栄養指導研究所だより」の執筆、千葉県栄養士会雑誌の企画・立案、ホームページ「現代食事考・かしこく食べる」の見直しなどを行った。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④栄養士・管理栄養士、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>2. 栄養指導・食事療法に関する研究および技術開発と振興</p> <p>2-1 千葉県栄養改善学会の開催(学術部)</p> <p>栄養学と栄養改善技術に関する最新の知見に基づく講演・シンポジウム、栄養士・管理栄養士による研究発表などを行う学会を開催して、さまざまな職域分野で働く栄養士・管理栄養士の研究を集約し、よりおいしく安全な食事作りや効果的な栄養指導・給食管理・食事療法などの充実を図ることを目指した。平成29年度は、30年2月3日(土)千葉県立保健医療大学において、「食品の機能性成分と栄養管理への活用」と題し、食品総合研究所・食品機能研究領域長の山本万里氏による特別講演と「給食経営管理に求められるもの」と題した淑徳大学教授の平澤マキ氏の教育講演を実施した。また会員からの一般口演22演題と協賛会員による優良商品の展示を行った。参加者数は171名であった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④大学研究者、栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	
<p>2-2 「食育媒体の作成と開発」の実技研究会の開催(福祉)</p> <p>平成29年度は実施しなかった。</p> <p>【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③研究・開発 ④講師は食育指導士 ⑤単独 ⑥非該当】</p>	

2-3 事例研究会の開催（地域活動）

県民の健康と食事・栄養摂取の実態および栄養指導・食事療法の事例・症例に関する調査研究、栄養指導・食事療法に関する技法の開発を目指し、さまざまなライフスタイルに即した指導方法の研究に努めることとし、平成29年度は30年2月8日（木）本会事務所において、栄養の指導を行うための情報を共有するため、ノンHDLコレステロールの値の理解について、ほたるのセントラル内科の江尻喜三郎氏を助言者として、17名が参加して実施した。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2-4 千葉県栄養士会雑誌の発行（広報部）

さまざまな分野で働く栄養士・管理栄養士に最新の情報と知識を伝え、業務に活用することを目的として、食や栄養に関する学術文、栄養改善奨励賞受賞者の発表内容、各職域の実践事例報告、活動だよりなどを掲載し、「栄養千葉」発行に併せて3回（4月、8月、12月）発行した。記事は、県民や会員外の栄養士・管理栄養士も読むことができるようにホームページに掲載するとともに、事務所掲示板に掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③雑誌発行 ④委員会で企画・編集 ⑤単独 ⑥非該当】

2-5 栄養士調理師合同研究発表会の開催（医療）

病院で共に働く栄養士・管理栄養士と調理師が、日頃の治療食や栄養指導などに関する研究を発表して、その事例や知見を普及し治療期間の短縮、疾病の再発防止、および、病院給食の質の向上に役立てることを目的に、11月12日（日）に千葉大学医学部附属病院において80名が参加して開催した。内容は、研究発表9題と特別講演として「慢性腎臓病の食事指導～これは知らないと恥ずかしい・・・？薬とデータから読み取る食事評価～」と題し、玄々堂君津病院栄養科長：西井大輔氏による講演を行った。

【①栄養士・管理栄養士、調理師 ②事務所掲示板、ホームページ ③調査、研究 ④専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 食文化の継承発展と健康的な食生活を営むレシピの開発

3-1 「『地産地消』レシピ」の考案と普及（事業部）

健康づくりや食育の推進と千葉県の豊かな食材の活用、食文化の継承・発展に役立てることを目的に、平成28年度の食育健康料理教室の実施に当たって考案したレシピ（料理）のうち、広く普及することが必要と思われるレシピを四季に分類し、ホームページに地産地消レシピとして掲載した。

【①県民、栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③開発 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

4. 千葉県および千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進

4-1 千葉県の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（総務部）

千葉県の行う健康づくりに関する各種委員会・会議等に参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の推進に協力した。平成29年度の各委員会・会議は以下のとおり。

千葉県食育推進県民協議会、健康ちば地域・職域連携推進協議会、千葉県アレルギー対策協議会、千葉県米消費拡大推進協議会、千葉県食品等安全・安心協議会、千葉県留置施設委員会、千葉県「健康ちば協力店」推進協議会、千葉県介護専門協議会、千葉県介護予防市町村支援検討会議

【①県民 ②県の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

4-2 千葉市の設置する各種委員会への参加と健康づくり施策の推進（千葉地域）

千葉市の行う健康づくりに関する各種委員会・会議などに参加し、専門職能集団としての立場から意見を述べ、健康づくり施策の策定に協力した。平成29年度の委員会・会議は以下のとおり。

千葉市健康づくり推進協議会、千葉市地域保健医療協議会、健やか未来都市ちばプラン推進協議会、千葉市学校給食センター運営委員会、千葉市在宅医療推進連絡協議会

【①市民 ②千葉市の諸施策の公開、広報による ③研究・政策立案 ④政策関係の専門知識を有する者 ⑤協力 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的として実施した。このことは、定款第3条、同第4条第1項第1号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにしている。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるよう、調査・研究結果の刊行物での公表、ホームページへの掲載、その内容へのアクセスを可能とする措置を講じた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。事業実施に当たっては、適宜、関連科学の定評のある研究者（大学教授）、専門職、その他の専門家の指導を受け、もしくは、これらと共同して、理論および実用性の両面において高い質の確保に努めた。

その他、県民の健康を衛する食と栄養の総合的かつ実践的な科学および技術の振興を図ることをとおして公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を実施した。

事業番号	事業の内容
公2	系統的・発展的な卒後教育・生涯教育の推進および養成教育への支援などにより、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業
定款上の根拠	第4条第1項第2号
事業の種類(認定法別表)	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、「事業の概要」の欄に記載した一連の取り組みなどとおして、栄養指導・食事療法のたしかな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成し、もって公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。健康増進法（平成14年8月2日法律第103号）第3条は国および地方公共団体の責務として「健康の増進にかかる人材の養成および資質の向上を図る」ことをあげているところであり、栄養士・管理栄養士として、有為の人材を育成する事業は、かかる公益上の要請に合うものである。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

この事業は、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士を育成するために各種の研修などに取り組むものである。栄養士・管理栄養士の人材育成事業であり、3つの柱から成り、(1) 1つ目の柱は、基幹研修制度で、中核事業が継続教育・生涯教育研修会である。すべての栄養士・管理栄養士を対象として実施する、系統的で発展的な内容の教育・訓練・学習からなる研修事業である。(2) 2つ目の柱は、職域研修制度である。特定職域や特定種類の業務を対象に、専門職業人の技能と心の深耕・発展を図る研修を行う。(3) 3つ目の柱は、公益目的事業の人的基盤を強化する事業である。これらの取り組みにより、栄養指導・食事療法の確かな技能と常に一人一人の県民に誠実に寄り添う心をもって疾病の予防と治療に臨み、県民の健康と福祉の増進に貢献する栄養士・管理栄養士の育成に努めた。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公2の事業を構成するものである。

以下に平成29年度事業の実施概要を記載する。

II. 健康づくりに貢献する栄養士・管理栄養士を育成する事業（定款第4条第1項第2号）

1. 継続教育・生涯教育事業－基幹研修制度

1-1 生涯教育研修会の開催（学術部）

栄養士・管理栄養士は科学の進歩と社会の変化に対応するために、常にスキルの向上を図り、専門職としての能力の習熟が求められる。そこで従来から行ってきた生涯学習から、キャリア形成を支援できる制度とするために、平成26年度から生涯職能開発の考え方を取り入れた生涯教育制度へ移行された。目的は、「単位」や「認定」の取得にあるのではなく、栄養士・管理栄養士として国民のために役立てる能力を身につけることである。生涯教育には「栄養の指導」の専門職として各領域で必須とされるスキルを習得するための基幹教育と、専門とする分野ごとに専門性を高める拡充教育がある。基幹教育は基本研修と実務研修があり、平成29年度は基本研修として必須科目6単位を含む9単位と実務研修9単位を6月4日（日）、7月15日（土）、8月6日（日）、9月30日（土）、10月8日（日）の5日間にわたって開催した。受講者数は152人で、延べ取得単位は1,190単位であった。

開催に際しては、開催案内を発送するほか、ホームページに掲載するなどして広く、栄養士・管理栄養士の参加を募った。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は管理栄養士、医師等の関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 日本栄養士会との共同研修事業の実施（事業部、地域活動）

（公社）日本栄養士会との共同で栄養士・管理栄養士として対応すべき全国的課題を素材に、地域性を生かして実践できる技術、能力を身に付ける研修事業として、平成29年度は「食生活と植物油栄養に関する講習会」と「健やか親子21～児童福祉施設におけるクッキング講座～」を実施した。

（1）食生活と植物油に関する講習会（地域活動）

9月24日（日）、学校法人植田学園習志野調理師専門学校にて実施した。午前中は調理実習を行い30名が参加し、午後からは、植物油に関する一般講義と植物油に関する専門講義を行い、42名が参加した。

（2）健やか親子21～児童福祉施設におけるクッキング講座～（福祉）

12月6日（水）千葉市消費生活センターにて実施した。スキムミルクを素材とした調理実習と事例発表（2題）を行い、調理実習37名、講義48名が参加した。

【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲示板、ホームページ ③講演・セミナー ④講師は管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

1-3 保健指導担当者等業務向上研修会の開催（学術部）

平成29年度は、東日本大震災を契機に日本栄養士会が推進する災害支援チーム「JDA-DAT」のスタッフ研修会を開催した。開催に当たっては、各職域事業部から推薦された委員をメンバーとする非常災害対策委員会を設置し、他の都道府県栄養士会の開催内容を参考にプログラムなどを検討し、10月28、29日（土・日）の2日間の日程で、千葉県こども病院にて実施した。昼食は、協賛会員から非常災害時に活用することが可能な食品の提供を得て活用した。参加者は、定員を上回る応募となり、最終的には、リーダー研修修了者5名を含む60名に修了証を交付した。

【①栄養士・管理栄養士、②事務所掲示板、ホームページ、③講座・セミナー、④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

1-4 栄養士・管理栄養士研修会（総会時特別講演）（総務部）

定時総会時に当該年度の栄養士・管理栄養士の活動を考える上での基本的な事柄について講演をいただくことを目的に、平成29年度は総会式典終了後に、「少子高齢社会における栄養士・管理栄養士の役割」と題して、神奈川県立保健福祉大学 学長 中村丁次氏に講演をいただいた。

【①栄養士・管理栄養士、②事務所掲示板、ホームページ、③講座・セミナー、④講師は大学教授または専門家 ⑤単独 ⑥非該当】

2. 特定職域・特定種類業務研修事業－職域研修制度

公衆衛生事業部

（1）中央研修会

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成29年 4月25日(火)	第1回 中央研修会	講演「CKDの食事療法について」 講師 独立行政法人国立病院機構千葉東病院 内科医長 川口 武彦 説明「平成29年度健康づくり・栄養改善事業について」 千葉県健康福祉部健康づくり支援課 食と歯・口腔健康班 副主査 高橋 希	千葉県教育会館	80名 (他事業部10名) (会員外5名)
10月21日(土)	第2回 中央研修会	講演「食べる機能の健やかな発達のために 今、私たちに出来ること」 講師 千葉県歯科医師会 障がい福祉保健委員会 副委員長 鈴木 真子 事例発表 ①「減塩から始まる高血圧対策 ～ヘルスメイトによる特定保健指導連携事業～」 東金市健康増進課 管理栄養士 佐藤 隆子 ②「食の選択力をつけるために ～中学生に対する食育講座の効果～」 木更津市健康推進課 副主幹 榎本 純子 主任栄養士 子安 薫	千葉商工会議所	65名 (他事業部5名) (会員外4名)

(2) ブロック研修会				
ブロック名	期 日	内 容	会 場	出 席 数
東 葛	平成29年 6月1日(木)	(1)業務検討「事業所給食施設指導事業について」 (2)情報交換「平成29年度健康づくり・栄養改善事業 重点事業計画」	市川市健康福祉センター	6名
	7月24日(月)	【市栄養士業務連絡会】 (1)平成29年度の実施事業について(重点及び新規事業等) (2)情報交換 アンケート調査の方法について 他	柏市保健所 ウェルネス柏	16名
	平成30年 2月20日(火)	【保健所・市栄養士合同研修】 (1)講演「栄養データの読み方 ～肥満・食塩を中心に～」 講師 東邦大学 健康科学部 講師 上地 賢 (2)業務検討	市川市健康福祉センター	35名
黒 潮	平成29年 8月8日(火)	(1)業務検討「食生活改善推進員活動について」 (2)講演「内臓脂肪を溜めない食生活について」 講師 花王株式会社 ヘルスクエア食品研究所 吉本 弥生	長生合同庁舎	20名
	平成30年 1月29日(月)	(1)事例発表 ①「夷隅保健所管内における朝食摂食推進の取り組み —朝食パンフレットの活用—」 御宿町保健福祉課 上野 千晶 ②「『健康もばら21』の推進に向けた既存事業(料理教室等) の見直し ～『茂原市健康・食育に関するアンケート調査』の再考察～」 茂原市健康管理課 大瀬 若葉 (2)次年度計画について (3)業務検討「糖尿病の重症化予防について」	長生合同庁舎	19名
さざなみ	平成29年 6月30日(金)	【健康福祉センター業務検討】 「食品表示基準の指導について」 【市町村業務検討】 「食生活改善協議会の運営について」	君津市保健福祉センター (ふれあい館)	14名
	9月1日(金)	【健康福祉センター業務検討】 「食品表示基準の指導について」 【市町村業務検討】 「食育推進計画の策定及び見直し方法について」	市原健康福祉センター	20名
	平成30年 2月26日(月)	【健康福祉センター業務検討】 「地域における健康づくり推進事業について」 【市町村業務検討】 「生活習慣病重症化予防における栄養士の関わり方と役割について」	安房健康福祉センター	14名
千 葉 市	平成30年 1月15日(月)	業務検討「高齢者の栄養管理について」	千葉市総合保健医療センター	9名
医療事業部				
(1) 中央研修会				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成29年 4月23日(日)	研 修 会	講演「黒田留美子式 高齢者ソフト食による安全で美味しい嚥下食を目指して」 講師 高齢者ソフト食研究会代表・管理栄養士・農学博士 黒田 留美子	千葉大学医学部附属病院外来診療棟 セミナー室	74名 (他事業部5名) (会員外0名)
7月30日(日)	プ ラ ク テ ィ ス セ ミ ナ ー	講演1「食べる」ということ 認知症の基礎知識と対応方法 講師 柏戸病院 副院長 柏戸 孝一 ランチョンセミナー アマニの活用術 日本製粉株式会社 講演2「動脈硬化予防のための栄養管理」 講師 千葉大学大学院医学研究院 細胞治療内科学 教授 横手 幸太郎 講演3「平成30年診療報酬 医療・介護同時改定に向けて」 講師 公益社団法人日本栄養士会 医療事業部 企画運営委員長 石川 祐一	千葉大学医学部附属病院外来診療棟 ガーネットホール	87名 (他事業部8名) (会員外1名)
平成30年 1月28日(日)	京 浜 ブ ロ ッ ク 研 修 会	講演・会員対話 「医療と介護の同時改定に向けて」 ～日本栄養士会の活動と国の動向～ 講師 (公社)日本栄養士会 医療事業部常任企画運営副委員長 原 純也 講演 栄養情報提供書を学ぼう① 講師 (公社)日本栄養士会 医療事業部常任企画運営委員 宮崎 純一 講演 栄養情報提供書を学ぼう② 講師 (公社)千葉県栄養士会 医療事業部企画運営委員 五十嵐 大輔	千葉大学医学部附属病院外来診療棟 ガーネットホール	126名 (他事業部9名) (会員外13名)

(2) 地区研修会				
地 区	期 日	内 容	会 場	出 席 数
千葉地区	平成29年 9月16日(土)	「経腸栄養剤について」 講師 ネスレ日本株式会社 管理栄養士 脇崎希望	井上記念病院	8名
	11月15日(水)	病院給食施設見学	富家千葉病院	10名
	平成30年 1月6日(土)	「スポーツ栄養」 講師 株式会社レオック スポーツ栄養事業企画部 管理栄養士・公認スポーツ栄養士 関根豊子	井上記念病院	8名
東葛南部	平成29年 6月10日(土)	「がん患者の栄養管理」 講師 がん研有明病院 栄養管理部 中濱孝志	市川教育会館 研修室	15名
	12月2日(土)	「あたたかいゼリー状ミキサー粥の作り方」 講師 ヘルシーフード(株) 山口朋和 情報交換会「栄養情報提供書について考えよう」 ～本当に必要な情報ってナニ?～	千葉県済生会 習志野病院	8名
東葛北部	平成30年 2月17日(土)	「抗がん剤治療の副作用を知り栄養管理に応用しよう」 講師 辻中病院柏の葉 薬剤科 科長 佐藤 将嗣	松戸市立福祉医療 センター	22名
印 旛	平成29年 9月23日(土)	「嚥下食調整食づくり(調理実習)」 講師 株式会社フードケア 在川一平、鹿子生耕介	佐倉ミレニウムセ ンター	6名
香取海匠	7月13日(木)	「経腸栄養の基礎知識について」 講師 (株)明治 薬剤師 村林一彦	旭中央病院 本館 3階 第4会議室	20名
山 武 長 生 夷 隅	8月5日(土)	「腎疾患の栄養管理について」 講師 株式会社クリニコ 本村弓美	塩田病院	10名
	12月16日(土)	「ミキサー食の選び方と人手不足解決」 講師 (株)エフ・エム・アイ ロボクープ販売 荻原貴之	塩田記念病院	8名
安 房	9月20日(水)	「栄養アセスメントの基本、サルコペニア・癌患者の栄養管理」 講師 アボットジャパン(株) 宮澤隆行	亀田総合病院 S棟	36名
	平成30年 2月14日(水)	「リハ栄養・認知症の栄養管理について」 講師 株式会社クリニコ 難波里帆	安房地域医療 センター	24名
君津市原	平成29年 6月7日(水)	「在宅医療と栄養管理」 講師 医療法人社団守一会 北美原クリニック 理事長 岡田晋吾	君津中央病院 4階講堂	28名
	11月27日(月)	「生きるメカニズムとはなんぞや～食事の大切さについて～」 講師 オフィスサトウ 代表 佐藤恭子	君津中央病院 4階講堂	31名
延べ件数14件 延べ参加数234名				
(3) 機関紙の発行 8月、12月、3月 機関紙発行「菜の花」93～95号 各550部				
学校健康教育				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成29年 5月20日(土)	研 修 会	栄養教諭・学校栄養職員研修会 「もっと知りたい、学校給食と牛乳」 講師 千葉県栄養士会 理事 井福 恵子	千葉県教育会館	18名
6月24日(土)	研 修 会	研究教育事業部主催 学校健康教育事業部共催 「スポーツと食生活」 第1部 「スポーツの楽しさ」 講師 女子栄養大学 教授 岩崎 利彦 第2部 「スポーツと栄養」 講師 関東学院大学 准教授 菅 洋子	川村学園女子大学	104名 (会員外3名) (学生89名)
11月18日(土)	研 修 会	元気な毎日のために一生きる力を育むための食育教材研究— ①教材作成 箸の使い方について学ぶ教材作り 食物繊維について学ぶ教材作り ②教材の活用方法についての意見交換	千葉県教育会館	24名
平成30年 2月24日(土)	研 修 会	研究教育事業部主催 学校健康教育事業部共催 「発達の偏りと食の偏り」 講師 川村学園女子大学 心理学科 教授 北原 靖子 蓮見 元子	川村学園女子大学	22名
福祉事業部				
期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成29年 4月20日(木)	研 修 会	講演「施設における防災対策～東日本大震災を経験して～」 講師：(株)日立製作所 日立総合病院 栄養科 科長 石川 祐一	千葉市民会館	42名
7月4日(火)	研 修 会	講演「経口維持に係る要介護高齢者の摂食支援にむけて」 講師：東京都健康長寿医療センター研究所 主任研究者 枝広 あや子	千葉市民会館	74名 (会員外21名)

9月11日(月)	研 修 会	講演「フレルティ・サルコペニアについて～高齢者の栄養～」 講師：女子栄養大学 臨床栄養管理研究室 教授 恩田 理恵	千葉市民会館	52名
11月25日(土)	研 修 会	講演「乳幼児期の食支援～発達に合わせた支援とアドバイス～」 講師：東洋大学ライフデザイン学部 非常勤講師・管理栄養士 太田 百合子	千葉県教育会館	56名 (会員外13名)
平成30年 1月22日(月)	研 修 会	講演「知的障害者への食事支援その考え方と手法」 講師：日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎	千葉市民会館	48名 (他事業部4名) (会員外5名)

勤労者支援事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成29年 4月22日(土)	視 察 研 修 会	薬についての知識を学ぶ	Daiichi Sankyo くすりミュージアム キャンディ	3名
平成30年 2月10日(土)	視 察 研 修 会	味の素の歴史と健康環境への取り組みを学ぶ ほんだしコース CookDo コース体験 自然食を取り入れたカフェメニュー	味の素川崎工場 カフェ ビーバー	9名 (会員外3名)

地域活動事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成29年 4月22日(土)	研 修 会	演題「健康的な身体作りのための身体活動と啓発活動事例～ 身体活動について学び健康づくりを支援する」 講師 和洋女子大学 教授 湊 久美子	千葉商工会議所 第2ホール (AB)	28名
6月10日(土)	研 修 会	演題「地域包括ケアシステムと連動した地域栄養ケアシステムの 構築について」 講師 埼玉県栄養士会 会長 平野孝則	千葉市蘇我コミュ ニティセンター	22名 他事業部1名 会員外1名
7月6日(木)	視 察 研 修 会	施設見学と講話：遺伝子研究から派生する医療、健康づくりの 研修。並びに内房の郷土料理の理解	かずさDNA 研究所	21名
10月10日(火)	研 修 会	演題「地域に暮らす高齢者の支援について」 講師 千葉市あんしんケアセンター千葉寺 管理者・社会福祉士 堀江亜希子	千葉市蘇我コミュ ニティセンター	24名
11月8日(水)	視 察 研 修 会	施設見学と講話：放射線と人に関わる研究を通じて健康づくり、 最新のがん治療についての研修	放射線医学総合研 究所	15名
平成30年 1月25日(木)	情 報 交 換 会	和食における食材の活かし方を学ぶとともに、地域ケア活動に ついて会員相互の意見交換	浅草むぎとろ	16名
7、12、3月	機 関 誌 発 行	166～168号 各300部		

研究教育事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成29年 6月24日(土)	研 修 会 (学 校 健 康 教 育 共 催)	講演「スポーツと食生活」 第1部 スポーツの楽しさ 第2部 スポーツと栄養 ～子どもを中心に～ 講師 川村学園女子大学教授 岩崎 利彦 関東学院大学準教授 菅 洋子	川村学園女子大学	104名 (会員外3名) (学生89名)
平成30年 2月24日(土)	研 修 会 (学 校 健 康 教 育 共 催)	講演「発達の偏りと食の偏り」 講師 川村学園女子大学教授 北原 靖子 川村学園女子大学教授 蓮見 元子	川村学園女子大学	22名

千葉地域事業部

期 日	事 業	内 容	会 場	出 席 数
平成29年 6月29日(木)	栄 養 ・ 衛 生 管 理 研 修 会	演題「栄養施策最近の動向と給食施設への期待」 講師 千葉県立保健医療大学 准教授 荒井 祐介	千葉市総合 保健医療センター	280名
9月14日(木)	健 康 づ くり 研 修 会	演題「災害時における給食施設の役割について」 講師 順天堂大学医学部附属浦安病院 増田 稔	千葉市総合 保健医療センター	206名
平成30年 1月23日(火)	病 態 栄 養 研 修 会	演題 「給食施設の地域連携について」 講師 淑徳大学看護学部教授 桑原 節子	千葉市総合 保健医療センター	88名

いずれの事業も【①栄養士・管理栄養士 ②事務所掲掲示板、ホームページ ③講演 セミナー ④講師は栄養士・管理栄養士、医師などの関連職種、大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】として行った。

3. 公益活動を強化するための人材を確保する事業（組織部）

公益目的事業を適正かつ円滑に行ううえで重要な人材の確保のため、本会の行う事業の必要性や意義などについて組織財政問題検討委員会において組織強化長期計画推進の取り組みなどの理解を深めてきた。そのための活動として、栄養士・管理栄養士の職業倫理や使命、公益目的事業の内容、職域事業部の活動などを紹介することを目的として作成した「入会のおすすめ」などを使って、医療事業部、福祉事業部の協力を得て県内の施設名簿を活用して未加入者への入会案内文書の発送を行った。

また、栄養千葉8月号発送時に、全会員に対し身近にいる未加入者に対し入会の案内を働き掛ける文書を同封して入会の促進に努めた。これらの他、卒業予定者への入会の働き掛けとして養成施設6校に対して「入会のおすすめ」などの配布を行うとともに、時間を設けていただいた3校に会長が出向いて直接専門職業人として継続して研修を積む必要性や組織の重要性などについて説明し理解を得て入会の促進に努めた。「入会のおすすめ」については、無料職業紹介所の紹介を加えるとともに、紙面を刷新することを目指したが、改定には至らなかった。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ、③その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥該当なし】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第2号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、研修等の内容や開催日時、受講資格が開かれていることなどをホームページ、雑誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門的知見を反映させた。研修会の講師、演者には、実務家養成の見地から、適宜、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を招くなどして理論的にも実践的にも高い質の確保に努めた。

その他、県民の伴侶としてその健康づくりに確かな貢献を行う栄養士・管理栄養士を育成することをとおして、公衆衛生の向上に寄与するとの目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公3	健康の増進、疾病の予防と治療に資する食事・栄養摂取のあり方について、講演会や講習会の開催、開かれた常設的相談窓口の設営、地域社会での諸活動、刊行物などによる知識・知恵の発信と交流など、多様な形態で行う栄養指導・給食管理・食事療法や食育に関する取り組みをとおして、県民の健全で稔り豊かな食生活の自律的な営みを支援する事業

定款上の根拠 第4条第1項第3号

事業の種類（認定法別表） 事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係

6号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を謳っており、これを受けて、本事業は、「事業の概要欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」（食育基本法前文）とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「（教育を通じて）国民の心身の健全な発達に寄与し、または豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」（公益法人認定法別表9号）にも該当する。
----	---

9号	健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を規定しており、これを受けて、本事業は、「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどをとおして、「『食』に関する知識と『食』を選択する力を習得し、健全な食生活を実践することができる人間を育てる」（食育基本法前文）とともに、生活習慣病などの予防と治療を推進し、もって、公衆衛生の向上（公益法人認定法別表6号）に寄与することを目的とする。 本事業は、学校教育や社会教育の場で食育活動として取り組まれるときには「（教育を通じて）国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養することを目的とする事業」（公益法人認定法別表9号）にも該当する。
----	---

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

健康増進法は「生涯にわたる国民の栄養摂取の改善に向けた自主的な努力を促進する」（健康増進法第30条の2第1項参照）を謳っており、本事業は、栄養士・管理栄養士の専門的知見と技能を生かした組織的活動により、疾病の予防と治療および療養、そして日常の食生活の各分野で、県民のかかる「自主的な努力」を支援するものである。この事業は、3つの柱からなり、（1）1つ目の柱は、個々の県民の個別性・特性に合わせた栄養指導その他の専門的支援を組織的に行うものである。（2）2つ目の柱は、食生活の改善をもって県民の健康・栄養・疾病予防上の課題に対処すべく、広く県民に対し食生活の質の向上、食事を含む生活習慣の見直しと改善に役立つ知識や知恵、実用技術の普及などを行うものである。（3）3つ目の柱は食・栄養と健康に関する情報コミュニケーション事業である。この3つの柱による参加と協働を宗とする開かれた多種多様な活動をおとして、健全な食生活・食事摂取の在り方の確立に向けた県民の取り組みを支援する。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公3の事業を構成するものである。

以下に、平成29年度事業の実施概要を記載する。

Ⅲ. 県民が健康で稔り豊かな生活を営むことができるよう支援する事業（定款第4条第1項第3号）

1. 個別特性対応型の自律支援事業

1-1 テレフォン栄養相談事業（広報部）

第2、第4月曜日の10時から16時まで、食と栄養に関する疑問を直接電話で受け、相談員が回答する「食べ物なんでも相談」を実施した。事業の適正な運営を図るため、9月、3月の2回担当者会議を開催した。相談件数の増加に向けて、事業の案内を千葉日報「現代食事考」の記事の後に記載するほか、千葉県中小企業団体中央会「情報誌」に掲載した。

また、「湯けむり横丁・みはま」の協力を得て、引き続きカタログスタンドを設置して案内チラシを置いた。本会ホームページのトップページに本事業の案内を掲載している。併せて、食育健康料理教室、講演会などでもチラシの配布を行った。平成29年度の相談件数は9件であった。

【①県民 ②千葉日報新聞、配布広告、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士が担当 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 特定保健指導の実施（総務部）

前年度に引き続き、中央建設国保千葉土建かずさ支部および千葉支部の初回指導および6ヶ月の継続指導などの個人指導を行うほか、保健指導の受講率の向上を図るため、9月の特定健診から健診時腹囲の他1つ以上保健指導の要件のある者に対し、初回面接を行うことになり、かずさ支部、千葉支部の健診時に担当者が向ういて個人面談を実施した。

これらを含め延べ60名（動機づけ29名、積極的支援31名）に対して保健指導を実施した。

【①県民 ②主催者の広報、事務所掲示板、ホームページ ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-3 介護予防栄養改善事業の実施（総務部）

（株）ダンロップスポーツウエルネスの依頼を受け、成田市の介護予防教室における栄養改善を担当し、8月31日（木）と12月7日（木）に午前、午後それぞれの会場に講師が出向いて講演を行った。1回目の参加者は48名、2回目は57名。成田市赤坂ふれあいセンター他3会場において実施した。

また、地域包括支援センターにおける栄養改善事業へ管理栄養士の積極的な参加を図るため、医療および老人福祉施設勤務経験者などの人材確保に努めるとともに、関係機関からの情報を入手するなど、必要な取り組みを行った。また、前年度に引き続き、千葉市内各区で開催される他職種連絡会議に参加して地域の取り組み推進にかかわるとともに、千葉市在宅医療推進連絡協議会に参画し連携体制の構築に努めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

1-4 日赤「低ヘモグロビン献血者に対する健康相談」事業（事業部）

日赤からの依頼がなく、平成29年度は実施しなかった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士による相談・助言 ⑤単独 ⑥非該当】

2. 集団特性対応型の自律支援事業

2-1 千葉市健康づくり大会への協力事業（千葉地域）

10月14日（土）に千葉市・イオンモール幕張新都心で開催された市民健康づくり大会に、関係団体と協力して、食生活・栄養・病態栄養コーナーの運営に当たった。パネルや食品模型などの展示や、料理や食品に含まれる食塩量をクイズ形式で提示し、市民の食と栄養を通じた健康づくりに寄与した。コーナー来場者は228名で51名に食に関する相談に応じた。運営には会員10名が担当し、総来場者は5847名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-2 がん予防展への協力事業（事業部）

9月はがん征圧月間に当たり、千葉県、（公財）ちば県民保健予防財団、千葉県がんセンターの主催により、「がん予防展・がん講演会」が県内の主な市街地のショッピングセンター内で開催され、がん予防・健康増進の意識高揚に役立っている。9月2日（土）～3日（日）にイオンタウンユウカリが丘において開催された。開催地域の印旛地区の医療事業部会員3名が協力し、パネル展示やがんなどの生活習慣病の予防に関する栄養相談を行い、コーナーへは50名が来場し好評であった。催しへの参加者は2日間で延べ6,393名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-3 地域健康づくり推進事業（医療）

県内8地区の活動として、地区内の自治体、または、医療機関、および他職種の機能団体が開催する健康増進に関するイベントに参加、協力し、地域住民に対する展示や食生活相談などを行った。

香取海浜地区 看護の日「栄養相談」5月13日（土）イオンモール銚子

東葛南部地区「健康フェア」10月28日（土）千葉県済生会習志野病院

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言、その他 ④栄養士・管理栄養士 ⑤共催・協力 ⑥非該当】

2-4 看護の日行事への協力事業（千葉地域）

千葉県看護協会千葉地区の行う看護の日の行事が、5月13日（土）ハーモニープラザで開催され、会員2名が協力し栄養相談などに応じた。相談は11名であった。

【①県民 ②主催者の広報 ③相談・助言 ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-5 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催（事業部）

栄養改善普及月間の行事として、食生活の改善に携わる栄養関係3団体（本会・千葉県食生活改善協議会・千葉県集団給食協議会連合会）の共催により9月28日（木）に千葉県他の後援を得て千葉県教育会館において開催した。

2部構成とし、1部は「大会式典」、2部は県民の参加を得て「健康づくり食生活講演会」として、千葉大学大学院医学研究院細胞治療内科学教授：横手幸太郎氏による「健康長寿のための生活習慣病とフレイル対策」の講演を行い、主催団体会員および県民380名が参加した。

【①県民 ②事務所掲示板、千葉日報新聞、ホームページ、他 ③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤共催 ⑥非該当】

2-6 健康づくり栄養講座の開催（学術部）

県民を対象に、生活習慣病などを予防し、健康寿命を延伸させるための知識を深めることを目的として11月5日（日）に千葉県立保健医療大学を会場に開催した。講座1「からだ喜び、お財布にもやさしい食事」新東京病院管理栄養士の浜田和昌氏、講座2「今がチャンス！働き世代から始める身体づくり」浦和大学講師で健康運動指導士の長阪裕子氏、講座3「働き世代の歯と口腔保健」千葉県口腔保健支援センター歯科医師の鈴木英明氏がそれぞれ講演を行った。参加者は市民28名を含む58名であった。

【①県民、②事務所掲示板、ホームページ、千葉日報・毎日新聞千葉版、チラシの配布、③講座・セミナー ④大学研究者 ⑤単独 ⑥非該当】

2-7 食育健康料理教室の開催（事業部）

この事業は、平成16年度から公民館などを利用して、健康づくりと生活習慣病の予防、食育の推進を目的として県民に直接望ましい食と栄養について実習を通じて話しかける事業として開始した。適正・円滑な運営を図るため、手引きの作成と担当者会議を開催し、「ちばの野菜で元気もりもり～食卓を見直そう！～」をテーマに統一メニューを作成、各開催・運営は昨年引き続き講師を含むスタッフ5名で行った。8月～2月に15会場（船橋市2会場・八千代市・市原市・成田市・市川市・松戸市・柏市・千葉市3会場・銚子市・浦安市・富里市・習志野市）で開催、延べ参加人数は272名であった。

【①県民 ②事務所掲示板、実施会場でのチラシ等の配布、親子料理教室の場合は近隣の小学校に依頼 ③体験学習（料理教室） ④管理栄養士・管理栄養士が企画・実施 ⑤単独 ⑥非該当】

2-8 講演会・料理教室などでの講演の実施（総務部）

関係機関・団体等の依頼に応じて、健康づくりや生活習慣病予防に関する各種講演会、研修会、料理講習会、栄養指導などを行って、食と栄養を通じた健康づくりの支援を行った。

平成29年度は6件の依頼に対して延べ19名が講師を務めた。

【①県民 ②主催者の広報 ③講座・セミナー、体験学習（調理実習） ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-9 親子料理教室の開催（学校健康教育）

今年度の親子料理教室は8月9日（水）流山市立北部中学校にて、近隣の小学校の親子39名、8月10日（木）市川市男女共同参画センターで、市川市立第二中学校区の小・中・特別支援学校の親子19名が参加した。流山市では、漁師による実演、おろした魚と流山産の枝豆を使って調理実習を行った。魚や地域の特産物への関心を高めることができた。市川市では、学校給食の献立の調理実習を行った。給食への関心が高まり、好評であった。

【①県民 ②該当する学校へのチラシの配布 ③体験学習（料理教室）、講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

2-10 千葉県食育の日事業への協力（千葉地域）

千葉県主催で6月11日（土）イトーヨーカ堂幕張店で食育のつどいが開催された。食育月間の行事として千葉市内の関係団体が協力し、本会は食育のパネル展示や媒体を活用して健康・食生活相談を行った。コーナーには448名が来場し、会員6名が担当した。

【①県民 ②千葉市の広報 ③相談・助言 ④関連専門職 ⑤共催 ⑥非該当】

2-11 調理補助講習への協力事業（事業部）

（公社）千葉県シルバー人材センター連合会の依頼により、派遣就業を希望する高齢者の就業機会の拡大を図るため、調理補助者として必要な知識と技能を修得することを目的として、9月20日（水）松戸市において会員2名が参加者11名に調理実習と講話を実施した。

【①県民 ②シルバー人材センターの行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-12 千葉県学校保健学会への協力事業（学校健康教育）

12月2日（土）淑徳大学で行われた第21回千葉県学校保健学会のワークショップに参加した。元気な毎日のために一生きる力を育むための食育教材研究一というテーマで、今年度は、箸の使い方について学ぶ教材作りとその活用方法についてディスカッションを行った。参加者は学生を含めて20名で、和やかななかにも有意義な研修であった。

【①栄養士・管理栄養士、関連職種 ②主催団体の行う広報 ③講座・セミナー ④栄養士・管理栄養士、関連職種 ⑤協力 ⑥非該当】

2-13 ウエルネスセミナー開催への協力事業（事業部）

大塚製薬(株)からの依頼で、9月13日（水）成田国際文化会館においてスーパーナリタヤの第9回健康セミナーとして講演を行い参加者は118名であった。

【①県民 ②主催団体の行う広報、ホームページ ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2-14 地域ディリーヘルスケア事業への協力事業（事業部）

大塚製薬(株)、ファミリーマート、本会と共同で「地域ディリーヘルスケア」住民の健康的な食生活のため展示や相談など年4回各種の情報提供を行う予定だったが諸般の事情により実施されなかった。

【①県民 ②主催団体の行う広報、ホームページ ③その他（情報発信） ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

3. 食と栄養と健康の情報コミュニケーション事業

3-1 インターネット・ホームページによる情報の提供（広報部）

ホームページを利用して、多くの人びとに千葉県栄養士会の活動や各種事業の広報と食と栄養の観点から健康づくりに役立つ情報を提供した。また、ホームページ運営委員会を3回（6月、11月、2月）開催し、運営方法の充実に努めた。各職域事業部が開催する研修会の案内を掲載するとともに、研修会終了後は研修報告を掲載した。「現代食事考：かしこく食べる」の内容の見直しを行い、最新の情報に書き換えを行った。また、「地産地消レシピ」を季節に合わせて更新した。

無料職業紹介事業として平成29年度から、栄養士・管理栄養士の求人・求職情報を掲載した。

【①県民 ②事務所掲示版、ホームページ ③その他（情報発信） ④栄養士・管理栄養士が記事を書いて編集 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 千葉日報「現代食事考」記事の提供事業（広報部）

千葉日報社の協力を得て、毎週日曜日の千葉日報新聞に「現代食事考」と題して年間執筆計画をもとに、国の健康づくりに関する月間や年中行事などを踏まえ、健康づくりや病気の予防、行事にまつわる料理や千葉県で生産される旬の食材の活用などに関する記事を会員の協力を得て提供した。平成29年度は52回の記事提供となり、掲載された記事は冊子として作成し、執筆者・役員に配布した。千葉日報新聞に掲載された現代食事考の記事は本会ホームページとリンクしていたが、新聞記事の購読有料化に伴いその記事の一部の紹介となり全文は読めなくなった。原稿の執筆の適正化を図るため「現代食事考の執筆にあたって」を改正し、これを使用して原稿を依頼した。

【①県民 ②千葉日報新聞、ホームページ ③その他（記事提供） ④栄養士・管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 NHK千葉FM「ひるどき情報ちば『食と健康』」放送協力事業（事業部）

平成29年度は、NHK千葉放送局の依頼がなく実施しなかった。

【①県民 ②NHK千葉放送局広報、本会ホームページ ③その他（情報提供） ④栄養士・管理栄養士の出演 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 健康づくりと栄養改善のパネルの作成と貸し出し（広報部）

食生活の改善や疾病の予防に関するパネルを作成し、地域の健康づくりのイベントや健康づくりに関する行事などに貸し出しを行った。栄養千葉、ホームページで本事業を紹介した。今年度は4件の貸し出しを行った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他（情報提供） ④管理栄養士によるパネルの作成 ⑤単独 ⑥非該当】

3-5 千葉県中小企業団体中央会「情報誌」への健康づくりに関する記事の提供事業（広報部）

千葉県中小企業団体中央会情報誌「中小企業ちば」に「食と健康ワンポイント」として年4回記事を提供し、県民の食と栄養を通じた健康づくりを支援した。併せて「健康づくり食生活講演会」の案内の掲載を9月号に依頼し、より多くの県民の参加に努めた。

【①県民 ②千葉県中小企業団体中央会「情報誌」 ③その他（情報発信） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

3-6 湯けむり横丁・みはま「湯けむり新聞」への記事の提供事業（広報部）

千葉県美浜区のスーパー銭湯、湯けむり横丁・みはまと連携して、毎月発行される「湯けむり新聞」に「食べる健康法」と題して、年間執筆計画を作成し記事を提供した。利用者および近隣地域住民に食と健康に関する情報を提供し好評を得ている。併せて、施設のお知らせコーナーへ「生活習慣病を予防する食事」をはじめとするリーフレット、テレホン栄養相談の案内チラシなどをカタログスタンドを設置して、健康づくりに関する情報の提供に努めた。

【①県民 ②湯けむり新聞 ③その他（情報発信） ④管理栄養士による記事提供 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第3号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

事業の実施に当たっては、不特定かつ多数の者がそれによる利益を享受できるように、講演会、展示会、集会などの内容や開催日時、参加資格が開かれていることなどをホームページや自治体の広報誌、チラシその他の媒体で明らかにした。

講演会などの講師は、定評のある研究者（大学教員）、専門職、その他の専門家を充てるなどして、的確でわかりやすく実用的な内容からなる質の高いものにした。

その他、健全な食生活・食事摂取のあり方の確立に向けた県民の取り組みを支援することをとおして、公衆衛生の向上に寄与する目的を実現するうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

事業番号	事業の内容
公4	地域社会の保健・医療・福祉の増進に関わる各種の専門職・専門家の連携と協働関係の形成、食品・食事の提供に関係する事業者への業務支援、地域社会の栄養改善に貢献した個人・団体の顕彰、管理栄養士・栄養士にかかる制度の改善を図る取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を支える食環境の整備を進める事業。
定款上の根拠	第4条第1項第4号
事業の種類（認定法別表）	事業が目的とする公益の種類と事業の内容との関係
6号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業の内容欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。
19号	本事業は、国民の食生活の改善に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させるための「事業概要欄」に記載した一連の取り組みなどとおして、県民の健全な食生活を育む食環境を整備し、もって、公衆衛生の向上（公益認定法別表6号）に寄与することを目的とする。本事業は、栄養・食生活改善の取り組みを国民の栄養と健康をケアする力をもつ健全な地域社会づくりと一体的なものとして「地域社会の健全な発展を目的とする事業」（公益法人認定法別表19号）にも該当する。

事業の概要【①事業対象 ②公開方法 ③形態 ④質の担保 ⑤単独/共催 ⑥委託】

県民の食生活に寄与しうる地域社会の諸資源（人と物と仕組み）を有機的に結び付け、その機能を改善・活性化させることにより、望ましい食環境の整備を図る事業である。本事業は3つの柱から成り、(1) 1つ目の柱は、栄養・食生活の改善を支援する保健、医療、福祉および教育などの分野の各職種並びに健康づくり関連企業への助言や支援などの連携・協働関係の構築。(2) 2つ目の柱は、栄養改善に貢献した団体・個人の顕彰。(3) 3つ目の柱は、適正な食生活を支援する制度の整備などに取り組むことをとおして、県民の食環境を望ましいものにすべくその整備を行おうとするものである。これは、県民の健全な食生活を支える地域社会づくりの事業でもある。

以下に掲記する個々の事業は、いずれも共通の目的を達成するための手段と位置づけられ、かつ、個々の事業相互が密接に関連しつつ相乗的に効果を発揮する関係にあることから、一体として公4の事業を構成するものである。

以下に、平成29年度事業の実施概要を記載する。

IV. 健康な食生活を支える食環境の整備を進める事業（定款第4条第1項第4号）

1. 連携構築事業

1-1 関係団体の行う各種健康づくりに関する委員会への参加と催しへの協力（総務部、事業部）

関係機関、関係団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しの開催に協力して、健康づくりや疾病予防に関する事業の推進を通じて連携強化を図った。

関係機関、団体における地域および健康づくりに関する委員会・会議に参画するとともに、催しに協力して、健康づくりや疾病予防に関する各種事業の推進を通じて、連携の強化を図った。平成29年度の状況は以下のとおり。

<関係機関・関係団体>※

（公社）千葉県医師会、（一社）千葉県歯科医師会、（公社）千葉県看護協会、（一社）千葉県歯科衛生士会、（一社）千葉県調理師会、（一社）千葉県診療放射線技師会、千葉県食生活改善協議会、千葉県集団給食連合会、（公財）ちば県民保健予防財団

<関係機関・関係団体で組織する県民の健康づくりを推進する組織>

障害児（者）のための摂食嚥下指導事業推進委員会、千葉県小児保健協会、千葉県学校保健学会、千葉県公衆衛生協会、千葉県糖尿病対策推進会議・講習会

<催しへの協力>

以下の催しの「料理審査担当」を務めるとともに、「栄養士会会長賞」の授与を行った。

（一社）千葉県調理師会主催：調理師大会「料理コンクール」、千葉県歯科衛生士会主催：「かむ子・のびる子、元気な子」料理コンクール、八千代市主催：「八千代市野菜たっぷりメニューコンテスト」

【①県民 ②主催団体の広報、③その他（情報発信） ④専門的な知見を有する者 ⑤単独 ⑥非該当】

1-2 調理師試験受験準備講習事業などに対する協力事業（事業部）

特定給食施設で共に働く調理員や飲食店などで働く調理従事者の調理師試験合格率の向上を図り、衛生的で安全な食事の提供に資することを目的として、平成12年度から（一社）千葉県調理師会が行う調理師試験対策事業に、「調理師試験対策委員会」を設置して講師の育成などを行い、受験準備講習会において試験6科目のうち5科目を担当し、県内13会場で開催された講習会に延べ59名（講師18名）が講師を務めた。

調理師試験問題の正解と説明は作成しなかった。

平成30年度における各種事業の一部変更を円滑、適正に行うことを目的として県主管課の担当者を交えて、2月13日（火）本会事務所において合同会議を開催した。

【①県民 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

1-3 「調理師による県民の食生活の向上に関する条例」に基づく講習会開催への協力事業（事業部）

平成28年4月1日からの県条例の施行に伴い千葉県健康福祉部担当主管課長の依頼を受け、（一社）千葉県調理師会の本部・支部が実施することになった講習会の開催に当たり、前年度に引き続き「栄養と健康」「食文化」などの講師を務めることになり、平成29年度は本部・支部合わせて7会場で開催した講習会において延10名が講師として運営に協力した。

【①調理師 ②調理師会の各支部が関係者に周知 ③講座・セミナー ④管理栄養士 ⑤協力 ⑥非該当】

2. 栄養改善に貢献した個人・団体を顕彰する事業

2-1 栄養改善奨励賞の授与（学術部、総務部）

栄養改善に顕著な功績のあった栄養士・管理栄養士に対して栄養改善奨励賞の授与を行い、栄養士・管理栄養士の研究の奨励、振興を図ることを目的として行った。平成29年度は第18回千葉県栄養改善学会において発表された一般口演22題を対象に推薦委員会を開催して審査を行い、次の2題を表彰に値するとして理事会に推薦した。理事会において推薦のあったものを栄養改善奨励賞に決定し、平成30年度定時総会式典において表彰することとした。

決定した内容は、口演4「食の連携プロジェクトの立ち上げ～食の見える化～」(亀田総合病院 和田聰子氏)と口演12「急性期病院における非常備蓄食の運用」(君津中央病院 山本晃佑氏ほか)であった。

【①栄養士・管理栄養士、栄養関係団体・個人 ②事務所掲示板、ホームページ ③表彰 ④顕彰審査委員会、審査基準の設置 ⑤単独 ⑥非該当】

3. 適正な食生活を支援する制度の整備

3-1 栄養教諭の配置促進事業（総務部）

栄養教諭の配置促進により、小・中学校における食育を推進することは健全な育育と生涯にわたる心も体も健康な児童生徒の育成につながるものであることから、千葉県教育委員会主管課に対して、栄養教諭の配置促進、市町村費負担の学校栄養職員への栄養教諭の門戸拡大などの要望書を教育委員会や担当主管に12月13日(水)会長他2名が持参し、学校安全課長、給食班長に今までの増員の結果に御礼を述べるとともに、栄養教諭を配置することの成果などをアンケート結果などを基に説明して理解を得た。

【①学校給食に携わる栄養士・管理栄養士 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-2 県・市町村行政栄養士配置促進事業（総務部）

日本栄養士会の作成した要望書を参考に、地域住民の食と栄養を通じた各種健康づくり施策の進展を目的とした要望書を作成し、千葉県健康福祉部健康づくり支援課、保健福祉センターおよび関係市町村担当者などとの共同により、保健福祉センター管理栄養士の配置促進や、市町村行政栄養士の複数配置についての要望活動を計画し、11月21日(火)、浦安市役所に出向いて健康福祉部長、健康福祉部次長、健康増進課長、成人保健係長に要望書を基に説明を行い、健康づくりにおける食と栄養の必要性について理解を得た。

【①県民 ②ホームページ ③その他 ④管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-3 栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業（総務部、組織部）

高齢社会が進行し健康づくりや生活習慣病の重症化予防、介護予防などの栄養管理の重要性が高まる中、県民の要望に応えるため無料職業紹介所を開設し、ホームページなどで事業者および栄養士・管理栄養士に利用を案内したが、十分に利用されなかった。

【①県民、②事務所掲示板、ホームページ ③その他(情報発信) ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

3-4 食品の栄養成分表示の促進事業（事業部）

消費者に食を通じた健康づくりの必要性の理解を深め、健康づくりの推進に資するとともに、高齢者を対象とした配食サービスで提供される食事の栄養管理の充実に向け、これらの製造などにかかわる事業者などの求めに応じて食品の栄養成分表示の促進を図ることの体制の整備を図った。

【①県民 ②事務所掲示板、ホームページ ③その他(情報提供) ④栄養士・管理栄養士 ⑤単独 ⑥非該当】

以上の個々の事業は、いずれも不特定かつ多数の者の利益の増進、すなわち、公衆衛生の向上に寄与することを主たる目的とする。このことは、定款第3条、同第4条第1項第4号および事業計画書その他に記載しホームページなどの媒体で明らかにした。

広く県民に開かれたものとして機能する連携関係や制度づくりを行い、不特定かつ多数の者が本事業による利益を享受できるように努めた。

事業内容には、栄養士・管理栄養士の専門性を反映させた。事業は適宜、定評のある研究者(大学教員)、専門職、その他の専門家と連携して行い、理論的にも実践的にも高い質の連携関係や制度づくりに努めた。

その他、県民(地域住民)の健全な食生活の礎となる地域社会づくりなどの食環境の整備をもって公衆衛生の向上に寄与する目的を裏切るうえで適切な内容や手段により事業を遂行した。

V. 法人運営に関する事業

1. 各種事業の充実への取り組み

1-1 執行体制の強化（総務部）

事業および会議などの年間予定表を作成し、理事会、部長会、各種委員会などを定期的に開催し、会議前の打ち合わせで事業ごとに各部の所掌業務を明確にするなどにより事業の充実に努めた。

1-2 事務局体制の充実（総務部）

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、会員管理事務の充実をはじめとする事務業務の向上に努めた。

9月の職員の退職に伴う後任の補充について、役員および全会員に文書をもって自薦、他薦を呼び掛けたが容易に採用することができなかったが、30年2月下旬に食育健康料理教室を担当者の運営に協力をいただいた会員を採用した。

1-3 栄養ケア・ステーション事業推進委員会の開催（総務部）

委員会を年2回定期的に開催し、栄養ケア・ステーション事業の充実と円滑な実施に努めた。

1-4 職域事業部事務担当者研修会および担当者会議の開催（総務部）

7月22日(土)、各部との合同により職域事業部各役員を対象に、午前中は中堅役員のスキル向上を目的とした研修会を実施し26名が出席した。午後からは事務担当者会議として、今年度の事業および組織運営など基本的な事柄について理解を深めた。また、会計担当者研修会および会議を6月24日(土)に開催し、13名が参加し、栄養士会組織の理解を深めるための研修と職域事業部・地域事業部における会計処理の方法について周知し、適正かつ円滑な会計処理の実施に努めた。

1-5 組織財政問題検討委員会の開催（総務部）

委員会を年2回定期的に開催し、第4次組織強化長期計画の推進をはじめとする、公益社団法人としての組織強化と財政基盤の強化などについて検討を進めた。

1-6 協賛会員対策の推進（総務部）

従来からの栄養千葉への広告の掲載、年2回の展示会の開催の他、新春賀詞交歓会を開催し協賛会員との交流を深めた。

1-7 非常災害時支援体制の整備（総務部）

日本栄養士会が進めるJDA-DAT事業の推進に向け、各職域事業部からの推薦された委員による非常災害対策委員会を設置し、委員会を2回開催し、スタッフ研修会の開催によるスタッフの育成、非常時のスタッフ確保のためのJDA-DAT千葉への登録依頼などを実施した。

1-8 会費の自動払込みの促進（総務部）

会費の早期納入および事務局の作業軽減、徴収時の事故防止の観点から、会費の「自動振引き落とし」利用者の増加に向けて、会報「栄養千葉」や各種研修会実施時に会員への周知を行った。平成29年度の利用者は364名（昨年より7名減）となった。

1-9 財政基盤の強化（総務部）

会員の減少が続いている状況をふまえ、財政基盤強化のための会員および協賛会員の確保に努めた。併せて各種事業の経費削減に努めるとともに、会費未納者への納入促進について、文書の発送を行うとともに、各職域事業部と連携し電話での納入依頼などを行い、財政基盤の強化に努めた。

1-10 栄養士職場問題対応委員会の運営（総務部）

平成29年度は会員からの相談はなく、委員会は開催しなかった。

1-11 日本栄養士会関係会議への出席（総務部）

定時総会および諮問会議、京浜地区会長会議などの各種関係会議に出席し、日本栄養士会の行う各種事業の円滑な執行に協力するとともに、本会事業の充実に努めた。

1-12 諸規程の整備（総務部）

公益法人立入検査における指摘を基に、「印章の管理に関する規程」および欠格事由の確認に伴う「欠格事由確認書」、「公益法人兼職届」の様式を作成した。欠格事由の確認については、全役員に4月20日（木）を期限として提出を依頼した。

1-13 会報「栄養千葉」の発行（広報部）

4月、8月、12月に125号～127号を発行した。記事は簡潔明瞭に努め、ページ数が増えないよう配慮した。

1-14 公益法人室立入検査への対応（総務部）

公益法人は、3年に1度立入検査が行われることから、前もって会長、副会長、総務部、事務局職員が会議室、倉庫などの整理・整頓の作業を行った。立入検査の日程が正式に11月27日（月）に決定したことから、数度にわたって会長、総務担当副会長、総務部長、総務部副部長が前回の立ち入り検査後の平成26年12月から28年度末までの「検査時に必要となる書類」および「立ち入り検査実施に当たってのお願い」に記載される簿冊、資料などについて点検、整理を行った。

検査当日は、午前10時から午後4時まで、公益法人室職員3名が来所し、本会からは会長、総務担当副会長、監事2名、事務局長、石井税理士が立ち会った。検査の開始に当たって会長から資料を基に、組織、事業の内容について説明を行った後、会議室において法務関係を2名で、会計関係を1名で関係帳簿の検査した。

検査の結果、以下の事項が口頭で指摘された。(1)平成28年度事業報告の提出が遅れたことについて。(2)定款変更届が出ていないので至急処理してほしい。(3)定時総会議事録に議事録作成者名を加えること。(4)理事、監事の欠格事項に関する報告を全員からもらって保管すること。(5)特別会計は、本部で管理すること。(6)立入検査の際は、本部の通帳と同様に職域事業部、地域事業部の通帳なども準備すること。(7)公印使用規程を作成し、印鑑の使用簿（帳簿）を作成すること。(8)残高証明を一冊にまとめること。これらの指摘された事項については、1月、3月の理事会で周知し対応した。

1-15 勤労者支援事業部の地域活動事業部への統合（総務部）

平成30・31年度の役員改選を前に、勤労者支援事業部において主要な会員に次期役員をお願いしたが、役員を務めることのできる会員が皆無になった。会長、副会長、勤労者支援事業部選出理事が協議し、勤労者事業部全会員に理事または、職域事業部役員として運営に協力してもらえるか否か、地域活動事業部への統合の可否について調査を実施することとした。約半数の会員から回答を得たが、結果は運営に協力してくれる役員はいなく、地域活動事業部への統合はやむを得ないとの結果になった。一部、他の事業部を希望する会員がいたことなどから、移動先は自らの意志で選択できることなどを含めて、年度内に変更届の提出について周知し、提出されない会員には確認を行った。

2. 第4次組織強化長期計画の推進状況（報告）

第4次組織強化長期計画は重点事業を定めて事業を進めることとした。重点事業の平成29年度の実施状況は、以下のとおりである。

1. 執行体制・事務局体制の強化

(1) 執行体制の強化

事業および会議の年間予定表を作成し、これをもとに理事会をはじめとする会議を定例的に開催した。会議の開始前に次第に従って主要な事項については、関係役員が打ち合わせを行って、役員間の意見の調整や意志統一を図り、事業の充実に努めた。

(2) 事務局体制の充実

事務局の業務分担や業務の処理方法を明確にして、会員管理事務をはじめとする事務業務の充実に努めた。9月に職員が退職したが後任の補充について、役員および全会員に文書をもって自薦、他薦を呼び掛けたが適任者を見つることができなかったが、2月下旬に面接を行い採用することができた。

今後、業務分担の見直しや職員教育の充実を図り、業務の適正・円滑な実施と効率の良い処理、事務所の整理・整頓の徹底に努める。

2. 会員の拡充

(1) 学生会員制度の創設

東京都栄養士会を参考にして、創設を検討したが実施には至らなかった。

(2) 校外実習・臨地実習の充実

校外実習・臨地実習の充実については、1 昨年実施に向けて計画を作成したが、養成施設での実施に向けた検討および個人情報の保護などの関係で実施することが出来なかった。

(3) 新入会員に対する研修会参加費の軽減

京浜地区内の都県の情報を入手し、本会の現状の経済状況を踏まえ、可能な方法があるか検討する。

(4) 休学生会員制度の創設

(公社) 日本栄養士会や実施している県などを参考に検討する。

(5) 会員意識の高揚

会員意識の高揚については、各種の研修会を通じて努めた。

3. 基幹研修・職域研修の充実

(1) 基幹研修の充実

基幹研修の科目の充実については、参加状況などを踏まえ、生涯教育委員会を開催し、基本研修を5～7 単位組み入れ、各職域事業部から翌年度に実施したい実務研修科目を持ち寄って、調整し、5 日間の日程を埋めて計画を作成する。

生涯教育の内容の充実と参加者の確保については、職域事業部の事業説明会や研修会などを通じて受講の奨励、前年度参加者への再度の開催案内の発送などにより参加者の確保に努めたが、参加者の拡充・確保を図ることはできず、前年度の参加者数を下回った。

(2) 職域研修の充実

職域事業部の研修の充実については、他職域事業部との共催や他職域事業部からの参加を募るなど効率な運営に努めた。また、アンケート調査や会員の声などをもとに、より求められる内容としての開催に努めた。

4. 県民の健康づくりを支援する事業の充実

(1) 人材の確保

各種の県民の健康づくりを支援する事業の充実に向けて、栄養千葉発行時に人材登録の案内および登録用紙を同封して人材の確保に努めた。

非常災害対策委員会を設置して検討・準備を進め、千葉県子ども病院において JDA-DAT スタッフ研修会を2 日間にわたって開催し、リーダー研修修了者5 名を含む60 名が修了し、修了証を交付した。非常災害が発生したときに、効率良く協力依頼ができるよう人材登録を行っている。

(2) 個別特性対応型自律支援事業の充実

29 年9 月から中健国保千葉土建の保健指導の受診率の向上をはかるため、健診時に腹囲のほかにリスクが1 つ以上ある者を対象に初回面談が行われることになり、管理栄養士2 名の参加を求められた。平成30 年度において人材の確保・研修を行って円滑に実施できるように準備を進めた。

(3) 集団特性対応型自律支援事業の充実

前年度に引き続き、食育健康料理教室参加者のアンケート調査の調査内容の変更により、教室の参加者の評価を明確にすることができ、今後の内容の充実に向けた事項を的確に把握することができた。

現代食事考の執筆を依頼する文書「現代食事考の執筆にあたって」を改正し、執筆にあたっての留意事項をより明確にした。

5. 食環境の整備を進める事業の充実

平成28 年度から(一社) 千葉県調理師会の行う「条例制定後の講習会開催」へ、栄養と健康、食文化、食品衛生(本部) の講師を依頼され、講習会の運営に協力した。

栄養士・管理栄養士の適正配置促進事業については、無料職業紹介事業の許可を29 年1 月1 日付で無料職業紹介事業許可証の交付を得、ホームページに求人、求職の案内を掲示したが、利用の向上が図られていない。

栄養教諭の配置促進、市町村行政栄養士の複数配置については、引き続き実施し、配置の促進に努めた。

6. 法人運営に関する事業

(1) 非常災害時支援体制の整備

非常災害時支援体制の整備に向けて、非常災害対策委員会を設置し、スタッフ研修会を開催するとともに、人材の登録、委員会を延べ3 回開催し次年度に向けた事業の検討などを行った。

(2) マイナンバー制度への対応

平成28 年1 月から開始され、円滑な実施に向けて職域事業部などへ周知を図ってきたが、講師からのマイナンバーの徴収漏れが多かったことから、さらに周知を図り、マイナンバーの円滑な徴収に努める。

第4 次組織強化長期計画の重点事項の実施に当たって、担当部などを明確にしなかったことから、一部の事業については、実施に向けて十分に検討されなかった事業がある。

次年度は、これらを踏まえて第4 次組織強化長期計画の推進に取り組む。

3. 会議の開催

理事会

第1回 平成29年4月15日(土)

1. 平成28年度収支決算および監査報告について
2. 平成29年度定時総会の開催運営について
3. 平成29年度生涯教育研修会の開催について
4. その他

第2回 平成29年5月27日(土)

1. 平成29年度生涯教育研修会の開催運営について
2. 非常災害対策委員会の設置と(第1回)JDA-DATスタッフ研修会の開催について
3. 平成29年度事業・会議予定について
4. その他

第3回 平成29年7月1日(土)

1. 平成29年度事業の執行について
2. その他

第4回 平成29年9月2日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. JDA-DATスタッフ研修会の開催運営について
3. 健康づくり栄養講座の開催運営について
4. 栄養千葉127号(12月号)・栄養士会雑誌23号発行計画兼原稿依頼(案)について
5. 公益法人室立入検査への対応について
6. 千葉県栄養改善学会開催について
7. その他

第5回 平成30年1月20日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成29年度事業報告・収支決算の取りまとめについて
3. 平成30年度生涯教育研修会の開催について
4. 平成30年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 平成30・31年度役員を選任および日本栄養士会代議員の選挙について
6. 平成30年度定時総会の開催について
7. 平成29年度収支見込みについて
8. その他

第6回 平成30年3月17日(土)

1. 平成29年度事業報告の作成について
2. 平成30年度事業計画および収支予算等の決定について
3. 平成30年度定時総会の開催について
4. 各種委員会の委員の構成と委員の選出について
5. 公益法人室立入検査への対応について
6. その他

部長会

第1回 平成29年5月13日(土)

1. 平成29年度定時総会の開催運営について
2. 生涯教育研修会の開催運営について
3. 非常災害対策委員会の設置と(第1回)JDA-DATスタッフ研修会の開催について
4. 平成29年度事業・会議予定について
5. その他

第2回 平成29年6月17日(土)

1. 平成29年度事業の執行について
2. その他

第3回 平成29年8月26日(土)

1. 千葉県栄養改善大会・健康づくり食生活講演会の開催運営について
2. JDA-DATスタッフ研修会の開催運営について
3. 健康づくり栄養講座の開催運営について
4. 栄養千葉127号(12月号)・栄養士会雑誌23号発行計画兼原稿依頼(案)について
5. 公益法人室立入検査への対応について
6. 千葉県栄養改善学会開催について
7. その他

第4回 平成29年11月25日(土)

1. 千葉県栄養改善学会の開催運営について
2. 平成29年度事業報告・収支決算書の取りまとめについて
3. 平成30年度生涯教育研修会の開催について
4. 平成30年度事業計画・収支予算案の作成について
5. 平成30・31年度役員を選任について
6. 平成30年度定時総会の開催について
7. 平成29年度収支見込みと事業の見直しについて
8. 現代食事考の執筆に当たっての注意事項について
9. その他

第5回 平成30年3月3日(土)

1. 平成29年度事業報告案の作成について
2. 平成30年度事業計画および収支予算案等の作成について
3. 平成30年度生涯教育研修会の日程について
4. 公益法人室立入検査に伴う対応について
5. 平成30年度定時総会の開催について
6. 各種委員会の委員の構成と選出について
7. その他

貸借対照表

平成30年3月31日現在

一般会計

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,231,914	13,210,705	21,209
未収金	376,318	174,000	202,318
立替金	13,537	0	13,537
前払費用	294,726	368,116	△ 73,390
流動資産合計	13,916,495	13,752,821	163,674
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
建物	9,056,916	9,850,977	△ 794,061
基本財産合計	9,056,916	9,850,977	△ 794,061
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	2,166,208	2,046,190	120,018
医療機関栄養業務実態調査預金	635,035	324,536	310,499
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	600,000	0
柴田顕彰会預金	3,253,863	3,303,831	△ 49,968
特定資産合計	6,655,106	6,274,557	380,549
(3) その他固定資産			
什器備品	45,568	74,708	△ 29,140
ソフトウェア	135,303	202,954	△ 67,651
敷金・保証金	300,000	300,000	0
その他固定資産合計	480,871	577,662	△ 96,791
固定資産合計	16,192,893	16,703,196	△ 510,303
資産合計	30,109,388	30,456,017	△ 346,629
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	130	156,330	△ 156,200
前受金	30,000	0	30,000
前受会費	4,342,000	4,420,000	△ 78,000
預り金	3,092,572	2,728,532	364,040
流動負債合計	7,464,702	7,304,862	159,840
2. 固定負債			
退職給付引当金	2,163,670	2,043,670	120,000
固定負債合計	2,163,670	2,043,670	120,000
負債合計	9,628,372	9,348,532	279,840
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	20,481,016	21,107,485	(△626,469)
(うち基本財産への充当額)	(9,056,916)	(9,850,977)	(△794,061)
(うち特定資産への充当額)	(6,655,106)	(6,274,557)	(380,549)
正味財産合計	20,481,016	21,107,485	△ 626,469
負債及び正味財産合計	30,109,388	30,456,017	△ 346,629

正味財産増減計算書

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	0	0	0
基本財産受取利息	0	0	0
② 特定資産運用益	50	220	△ 170
特定資産受取利息	50	220	△ 170
③ 受取入会金	124,000	127,000	△ 3,000
受取入会金	124,000	127,000	△ 3,000
④ 受取会費	18,330,000	18,395,000	△65, 000
受取会費	15,230,000	15,345,000	△ 115,000
受取協賛会費	3,100,000	3,050,000	50,000
⑤ 事業収益	7,375,851	6,078,018	1,297,833
受取受講料 (会員)	2,149,300	1,808,900	340,400
受取受講料 (会員以外)	468,900	332,300	136,600
受取分担金	1,247,318	1,094,368	152,950
受取業務手数料	2,549,654	2,272,450	277,204
受取事業協賛金	808,679	450,000	358,679
販売収益	2,000	0	2,000
雑収益	150,000	120,000	30,000
⑥ 受取補助金	270,000	335,000	△ 65,000
受取地方公共団体他補助金	270,000	335,000	△ 65,000
⑦ 受取寄付金	0	0	0
受取寄付金	0	0	0
⑧ 雑収益	10,526	15,400	△ 4,874
受取利息	47	300	△ 253
雑収益	10,479	15,100	△ 4,621
経常収益計	26,110,427	24,950,638	1,159,789
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	4,976,088	4,850,654	125,434
臨時雇賃金	222,450	160,675	61,775
退職給付費用	96,000	96,000	0
福利厚生費	399,870	479,499	△ 79,629
会議費	698,694	590,451	108,243
旅費交通費	1,533,399	1,422,543	110,856
通信運搬費	1,339,818	1,345,428	△ 5,610
減価償却費	623,596	642,589	△ 18,993
消耗品費	1,485,043	1,257,051	227,992
修繕費	0	0	0
印刷製本費	897,063	766,732	130,331
光熱水料費	228,577	224,995	3,582
賃借料	630,000	630,000	0
保険料	79,455	90,932	△ 11,477
諸謝金	3,996,233	3,084,784	911,449

科 目	当年度	前年度	増 減
会場費	853,560	958,572	△ 105,012
リース料	369,334	289,538	79,796
食料費	383,295	289,035	94,260
支払負担金	354,287	336,497	17,790
渉外費	35,940	51,240	△ 15,300
表彰費	55,265	44,212	11,053
租税公課	54,110	58,420	△ 4,310
消耗什器備品	0	16,700	△ 16,700
雑費	129,635	83,346	46,289
事業費計	19,441,712	17,769,893	1,671,819
② 管理費			
給料手当	1,244,022	1,212,663	31,359
臨時雇賃金	0	0	0
退職給付費用	24,000	24,000	0
福利厚生費	99,968	119,875	△ 19,907
会議費	571,530	517,660	53,870
旅費交通費	148,166	241,178	△ 93,012
通信運搬費	305,552	287,678	17,874
減価償却費	267,256	275,395	△ 8,139
消耗品費	267,397	258,763	8,634
修繕費	0	0	0
印刷製本費	1,570,433	1,591,551	△ 21,118
光熱水料費	97,962	96,427	1,535
賃借料	270,000	270,000	0
保険料	7,011	7,011	0
諸謝金	583,051	562,579	20,472
会場費	80,315	65,515	14,800
リース料	158,286	124,088	34,198
食料費	855,583	944,280	△ 88,697
支払負担金	105,147	105,147	0
渉外費	142,698	194,392	△ 51,694
租税公課	23,190	24,780	△ 1,590
役員報酬	360,000	381,600	△ 21,600
表彰費	22,700	21,468	1,232
消耗什器備品	0	0	0
雑費	90,917	77,963	12,954
管理費計	7,295,184	7,404,013	△ 108,829
経常費用計	26,736,896	25,173,906	1,562,990
当期経常増減額	△ 626,469	△ 223,268	△ 403,201
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
他会計振替額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△626,469	△223,268	△403,201
一般正味財産期首残高	21,107,485	21,330,753	△ 223,268
一般正味財産期末残高	20,481,016	21,107,485	△ 626,469
II 正味財産期末残高	20,481,016	21,107,485	△ 626,469

平成29年度正味財産増減計算書内訳表

科 目	公益目的事業会計						法人会計	合 計	備 考
	公1	公2	公3	公4	公益共通	公益事業計			
	科学技術 振興事業	人材育成 事業	自律支援 事業	食環境 整備事業					
1 一般正味財産増減の部									
1. 計上増減の部									
(1)経常収益									
基本財産運用益									
基本財産受け取り利息									
特定資産運用益									
特定資産受取利息	50					50	50		
受取入金						0			
受取入金					62,000	62,000	62,000	124,000	新入会者124名
受取会費						0			
受取会費					7,615,000	7,615,000	7,615,000	15,230,000	会員1520名(28年度分6名含む) 職域事業部のみ12名
協賛会費					1,550,000	1,550,000	1,550,000	3,100,000	
事業収入									
受取受講料(会員)		2,149,300				2,149,300		2,149,300	生涯教育研修会 5日間分参加費他
受取受講料(会員以外)	1,000	329,900	138,000			468,900		468,900	研修会参加費、食育健康料理教室材料費
受取分担金		526,318	30,000			556,318	691,000	1,247,318	改善大会・食生活講演会、共同研修事業、賀詞交歓会参加費
受取業務手数料			1,080,354	1,224,000	122,650	2,427,004	122,650	2,549,654	栄養ケアステーション事業、会費納入・封入手数料
受取事業協賛金	100,000	528,679	180,000			808,679		808,679	研修会、ホームページ協賛金
販売収益		2,000				2,000		2,000	
雑収益						0	150,000	150,000	総会、改善大会、賀詞交歓会他
受取補助金等									
受取補助金			270,000			270,000		270,000	ちば県民保健予防財団、千葉市健康づくり大会
受取寄付金									
受取寄付金						0		0	
雑収益									
受取利息		7			20	27	20	47	受取利息
雑収益	499	180			4,900	5,579	4,900	10,479	
経常収益計	101,549	3,536,384	1,698,354	1,224,000	9,354,570	15,914,857	10,195,570	26,110,427	
(2)経常費用									
事業費									
給料手当	477,704	2,706,992	1,224,118	567,274		4,976,088		4,976,088	職員給料・手当
臨時雇賃金	0	50,450	172,000	0		222,450		222,450	繁忙期臨時雇入れ職員
退職給付費用	9,216	52,224	23,616	10,944		96,000		96,000	
福利厚生費	38,388	217,529	98,368	45,585		399,870		399,870	社会保険、労働保険、健康診断
会議費	33,624	431,521	208,862	24,687		698,694		698,694	
旅費交通費	158,082	892,819	337,554	144,944		1,533,399		1,533,399	
通信運搬費	152,851	977,842	171,969	37,156		1,339,818		1,339,818	栄養士会雑誌等発送費含む
減価償却費	59,865	339,236	153,405	71,090		623,596		623,596	建物、什器備品
消耗品費	66,979	595,058	759,851	63,155		1,485,043		1,485,043	事務機器他消耗品
印刷製本費	402,108	411,770	76,394	6,791		897,063		897,063	封筒、振替用紙、入会案内他
光熱水料費	21,943	124,346	56,230	26,058		228,577		228,577	電気・ガス・水道料
賃借料	60,480	342,720	154,980	71,820		630,000		630,000	事務所地代
保険料	7,930	35,028	24,559	11,938		79,455		79,455	
諸謝金	167,055	1,971,800	925,878	931,500		3,996,233		3,996,233	生涯教育他講師等謝金
会場費	35,501	710,664	107,395	0		853,560		853,560	
リース料	35,456	200,918	90,856	42,104		369,334		369,334	事務機器リース料
食料費	98,250	261,398	23,124	523		383,295		383,295	
支払負担金	19,073	133,730	142,835	58,649		354,287		354,287	日栄参加費、防犯契約
渉外費	0	4,320	1,620	30,000		35,940		35,940	
表彰費	0	0	0	55,265		55,265		55,265	栄養改善奨励賞
修繕費	0	0	0	0		0		0	
租税公課	5,195	29,436	13,310	6,169		54,110		54,110	
支払利息	0	0	0	0		0		0	
消耗什器備品	0	0	0	0		0		0	
雑費	21,189	85,583	16,464	6,399		129,635		129,635	
事業費計	1,870,889	10,575,384	4,783,388	2,212,051		19,441,712	0	19,441,712	
管理費									
給料手当							1,244,022	1,244,022	職員給料・手当
臨時雇賃金							0	0	
退職給付費用							24,000	24,000	
福利厚生費							99,968	99,968	社会保険、労働保険、健康診断
会議費							571,530	571,530	栄養改善大会含む
旅費交通費							148,166	148,166	
通信運搬費							305,552	305,552	電話料、メール便、切手
減価償却費							267,256	267,256	建物、什器備品
消耗品費							267,397	267,397	事務機器他消耗品
印刷製本費							1,570,433	1,570,433	栄養千葉、封筒、振替用紙他
光熱水料費							97,962	97,962	電気・ガス・水道料
賃借料							270,000	270,000	事務所地代
保険料							7,011	7,011	
諸謝金							583,051	583,051	税理士、司法書士謝金
会場費							80,315	80,315	改善大会含む
リース料							158,286	158,286	事務機器リース料
食料費							855,583	855,583	総会、栄養改善大会、新春賀詞交歓会
支払負担金							105,147	105,147	防犯契約、日赤ほかへの寄付
渉外費							142,698	142,698	
表彰費							22,700	22,700	
租税公課							23,190	23,190	
役員報酬							360,000	360,000	監事
雑費							90,917	90,917	
管理費計	0	0	0	0	0	0	7,295,184	7,295,184	
費用合計	1,870,889	10,575,384	4,783,388	2,212,051	0	19,441,712	7,295,184	26,736,896	
公益事業比率	6.7	38.1	17.2	8.0	0.0	70.0	30.0		

財産目録

平成30年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金預金			
	現金	手元保管		
		現金	運転資金として	11,554
		職域事業部・千葉地域事業部現金	運転資金として	114,223
	普通預金	千葉銀行みつわ台支店		
		普2006576	運転資金として	859,933
		普2020609	運転資金として	845,798
		普3192700	運転資金として	94,320
		普3409598	運転資金として	342,519
		普3006299	運転資金として(千葉地域)	68,013
		千葉信用金庫作草部支店		
		普0682242	運転資金として	321,711
		普0685151	運転資金として	647,662
	普通貯金	ゆうちょ銀行		
		10580-15293221	運転資金として	50,139
		10570-30174421	運転資金として	440,878
		10530-10135981	運転資金として(公衆衛生)	114,413
		10520-37125371	運転資金として(医療)	0
		10550-52137101	運転資金として(勤労者支援)	53,512
		10520-54350591	運転資金として(地活)	769
	10130-79051931	運転資金として(研教)	51,907	
	10540-39470871	運転資金として(学校)	144,975	
	10540-9029131	運転資金として(福祉)	270,004	
振替口座	ゆうちょ銀行			
	00110-7-779711	運転資金として	223,682	
	00180-2-94011	運転資金として	7,547,692	
	00180-0-576091	運転資金として	1,028,210	
		【現金預金計】	13,231,914	
未収金	日栄共同事業費	研修会経費立替負担分	376,318	
		【未収金計】	376,318	
立替金	日栄	京浜地区リーダー研修会会場費	13,537	
		【立替金計】	13,537	
前払費用	千葉県教育会館に対する前払額	栄養改善大会会場代の内金	10,000	
	セコムに対する前払額	防犯契約料4～6月分	70,956	
	千葉市文化振興財団に対する前払額	生涯教育研修会会場費	204,150	
	千葉県教育会館他に対する前払額	各協議会経費の前払額	9,620	
		【前払費用計】	294,726	
流動資産合計				13,916,495
(固定資産)				
基本財産	建物	115.7㎡	共有財産	
		千葉市若葉区殿台町122	うち公益目的保有財産 70.0%	9,056,916
		平屋1階建	うち管理目的の財源 30.0%	
			【基本財産計】	9,056,916

貸借対照表項目		場所・物量等	使用目的等	金額
特定資産	退職給付引当資産	ゆうちょ銀行	従業員の退職金の支払いに備えた積立資産である。	2,166,208
	医療機関栄養業務実態調査預金	千葉銀行松ヶ丘支店	県内医療機関栄養業務実態調査事業の積立資産である。	635,035
	全国公衆栄養活動研究会預金	ゆうちょ銀行	全国公衆栄養活動研究会事業の積立資産である。	600,000
	柴田顕彰会預金	千葉信用金庫作草部支店	栄養改善功労者を顕彰するための事業の積立資産である。	3,253,863
			【特定資産計】	6,655,106
その他固定資産	什器備品	パソコン3台、金庫1台他	共有財産 うち公益目的保有財産 70.0% うち管理目的の財源 30.0%	45,568
	ソフトウェア	会計ソフト		135,303
	敷金・保証金	紅谷正男氏に対する敷金支払額 紅谷正男氏に対する保証金支払額	敷金として 保証金として	150,000 150,000
				【その他固定資産計】
固定資産合計				16,192,893
資産合計				30,109,388
(流動負債)	未払金	職域事業部の通信費	職域事業部の通信費不足分	130
			【未払金計】	130
	前受金	協賛会員からの前受金	バナー広告費として	30,000
			【前受金計】	30,000
前受会費	会員からの預り額	平成30年度の会費及び入会金の預り額 公衆衛生 55名分 医療 140名分 学校 24名分 福祉 90名分 地活 108名分 研教 13名分	551,000 1,429,000 240,000 909,500 1,082,500 130,000	
		【前受会費計】	4,342,000	
預り金	会員からの預り額 29・30年度分 職員、税理士他からの預り額 退会会員他からの預り額	日栄会費の預り額 454名分 源泉所得税の預り額 退会会員他に対する会費の返金分として	2,951,000 41,572 100,000	
		【預り金計】	3,092,572	
流動負債合計				7,464,702
(固定負債)	退職給付引当金	従業員に対するもの	従業員1名の退職金の支払いに備えるもの	2,163,670
			【退職給付引当金計】	2,163,670
固定負債合計				2,163,670
負債合計				9,628,372
正味財産				20,481,016

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 固定資産の減価償却の方法
建物・・・法人税法に規定する定額法によっている。
什器備品・・・法人税法に規定する定率法によっている。
- (2) 引当金の経常基準
退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当期末において要支給額を計上している。
- (3) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理については、税込方式を採用している。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
建物	9,850,977	0	794,061	9,056,916
小 計	9,850,977	0	794,061	9,056,916
特定資産				
退職給付引当資産	2,046,190	120,018	0	2,166,208
医療機関栄養業務実態調査預金	324,536	310,499	0	635,035
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	0	600,000
柴田顕彰会預金	3,303,831	32	50,000	3,253,863
小 計	6,274,557	430,549	50,000	6,655,106
合 計	16,125,534	430,549	844,061	15,712,022

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
建物	9,056,916	0	(9,056,916)	0
小 計	9,056,916	0	(9,056,916)	0
特定資産				
退職給付引当資産	2,166,208	0	(2,166,208)	(2,166,208)
医療機関栄養業務実態調査預金	635,035	0	(635,035)	0
全国公衆栄養活動研究会預金	600,000	0	(600,000)	0
柴田顕彰会預金	3,253,863	0	(3,253,863)	0
小 計	6,655,106	0	(6,655,106)	(2,166,208)
合 計	15,712,022	0	(15,712,022)	(2,166,208)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物	17,262,213	8,205,297	9,056,916
什器備品	1,495,829	1,450,261	45,568
ソフトウェア	338,256	202,953	135,303
合 計	19,096,298	9,858,511	9,237,787

以上のとおり相違ありません。

平成30年4月14日

公益社団法人 千葉県栄養士会
会 長 長谷川 克己 印
副会長 杉 崎 幸 子 印
副会長 鯨 岡 春 生 印

監 査 報 告 書

公益社団法人千葉県栄養士会
会 長 長谷川 克己 様

平成30年4月14日

公益社団法人千葉県栄養士会
監 事 石橋 裕子 印

公益社団法人千葉県栄養士会
監 事 酒井 秀大 印

私たち監事は、平成29年4月1日から平成30年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

- (1) 各監事は、理事及び事務局職員と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び事務局職員からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。
- (2) 各監事は、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

- (1) 事業報告等の監査結果
 - 一 事業報告は、法令及び定款に従い法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。